



**第8回全国手話言語市区長会
手話劇祭 in 府中 報告書**





目次

- 開催概要……………4・5ページ
- 周知・広報活動……………6ページ
- プログラム……………7ページ
- 公演情報……………8～15ページ
- 会場設備・情報保障……………16ページ
- 参加者・来場者実績……………17ページ
- 来場者アンケート……………18・19ページ

開催概要

開催目的

手話劇祭は、手話を使った劇や歌などの舞台表現を通じて、手話の魅力とその文化を広く伝えることを目的に開催しています。また、舞台を通じて多様な価値観を認め合い、共生社会の実現に向けた一歩となることを目指しています。

背景

手話劇祭の実施は、主催である全国手話言語市区長会の活動を広めるとともに、手話は「言語」であることを多くの方々に認識していただき、手話を使う方が安心して日常生活を送ることができる社会の実現を目指し、平成29年度から各地で開催しています。

主催・共催

主 催 全国手話言語市区長会
共 催 公益財団法人府中文化振興財団

後援団体

特別協力 一般財団法人全日本ろうあ連盟
公益財団法人日本財団
後 援 手話を広める知事の会
社会福祉法人全国手話研修センター
一般社団法人全国手話通訳問題研究会
一般社団法人日本手話通訳士協会
京王電鉄株式会社
社会福祉法人府中市社会福祉協議会

開催概要

協力団体

府中市聴覚障害者協会
中途失聴・難聴者「つばさの会」府中
手話サークルかんとん
手話サークルてとて
学校法人 明星学苑 明星中学校・高等学校

実行委員会

構成員

会長 小野寺 敏雄（府中市聴覚障害者協会）
副会長 浅野 茂男（府中市聴覚障害者協会）
監事 太田 照子（手話サークルかんとん）
委員 小橋 由里子（中途失聴・難聴者「つばさの会」府中）
酒井 恵美子（手話サークルてとて）
向山 昇剛（障害者福祉課長）

会議開催

第1回	4月30日(水)	規約、実施要領、予算案、企画案
第2回	6月16日(月)	出演団体との打合せ
第3回	8月8日(金)	告知、申込受付方法、タイムテーブル
第4回	9月1日(月)	プログラム、進行台本、運営マニュアル
第5回	10月27日(月)	実績報告、振り返り

〈実行委員会の様子〉



周知・広報活動

周知

チラシ・ポスターの配布先

- ・市内公共施設
- ・京王線駅構内(市内)
- ・府中市立小学校・中学校
- ・都立聴覚障害特別支援学校
- ・市内保育所・幼稚園・学童クラブ
- ・市内障害福祉サービス事業所
- ・市内放課後等デイサービス事業所
- ・障害福祉団体
- ・コミュニティバスちゅうバス

など

その他の告知

- ・市庁舎(おもや)サイネージ
- ・市ホームページ
- ・府中市公式LINE
- ・市内イベントでのチラシ配布

など

〈ポスター〉



〈サイネージ〉



広報

令和7年8月15日号

広報ふちゅうに
掲載しました



プログラム

プログラム

- 13:00** 開演
主催、来賓あいさつ
- 13:30** 日本ろう者劇団
演目／「墨塗(すみぬり)」
出演／江副悟史 砂田アトム 鈴まみ
- 14:30** ～休憩～
- 14:45** 東京外国語大学チアリーディング部RAMS
「世界はあなたに笑いかけている」「できっこないをやらなくちゃ」ほか
- 15:15** 手話サークル
「まほうのことば」「しゅわしゅわデフリンピック」ほか
- 15:35** デフリンピックトークショー
デフスポーツの魅力やデフリンピックにかける意気込みを
選手のリアルな言葉(手話)でお届けします。
- 15:55** ～休憩～
- 16:10** 手話パフォーマーRIMI
「中央フリーウェイ」「亜麻色の髪の乙女」ほか
- 16:50** 閉会あいさつ・フィナーレ

各出演者の出演時間は、進行状況により多少前後する場合がございます

手話狂言「墨塗(すみぬり)」のあらすじ

訴訟ごとのため都に滞在していた大名が、思いどおり事も運び、近日、故郷へ帰ることになりました。その前に、都でなじんだ女がいるので、別れを告げに行きます。

話を聞くと女は別れを悲しんでさめざめと泣き出します。大名は、それほどまでに自分を想っていてくれたかと感激します。が、ふと太郎冠者を見ると、女は水入れの水で目を濡らし、涙を見せかけているのです。

太郎冠者は、そっと、女の水入れを墨の入った水入れと取り替えておきます。そうとは知らずに女は、……。

■……平安時代の『平(へい)仲(じゅう)物語』という、色好みの伊達男、平貞文を主人公にした歌物語に同じ題材の話が載っています。ただし、その物語では男が空泣きするのですが、狂言は男女を逆転させ、巧みな脚色をしています。

公演情報

主催あいさつ

(全国手話言語市区長会 会長 東大阪市長 野田義和)



手話劇祭は、この府中市で第8回目を迎えます。毎回、劇中の手話を通し、想像力や表現力、工夫する力、自分の思いを伝える力を考えさせられる非常に貴重な機会となっており、手話言語市区長会の重要な啓発イベントとして位置付けております。そして、本会としては、様々なイベントを通じ、引き続きろう者の文化の向上を図りつつ、更なる聴覚障がい者の自立と社会参加の実現をめざしてまいりたいと考えております。

先日6月18日に「手話に関する施策の推進に関する法律」が制定されました。この法律では、手話を必要とする方、使用する方の意思の尊重と手話文化の継承、そして共生社会の実現に向けた国民の理解促進が基本理念として定められています。

法律の制定により、手話の普及促進の重要性がより高まる中、本会も今年を新たなスタートラインとし、基礎を固め活動を推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

開催市あいさつ

(府中市長 高野律雄)

第8回全国手話言語市区長会手話劇祭が府中市で開催されることを心より嬉しく思います。府中市は東京都のほぼ中央に位置し、豊かな自然や歴史、そして人と人の温かなつながりが息づくまちです。市の中心部には国の天然記念物である馬場大門けやき並木や大國魂神社があり、伝統と活気が融合した府中ならではの賑わいを体感できます。また、府中市はスポーツ・芸術・福祉でも先進的な取組を進めており、イベントなど様々な機会の提供を行っています。



今年はデフリンピックが東京で開催され、府中市立総合体育館でレスリング競技が行われます。この機会に手話の魅力や重要性を発信し、手話をはじめとした聴覚障害理解の普及の輪をさらに広げていきたいと考えています。本日の手話劇祭が、手話を通じた新たな交流や理解の場となり、デフリンピックの気運醸成にもつながることを願っております。結びに、開催にご尽力いただいた全ての方々に深く御礼申し上げます。

※あいさつ文は抜粋しております

来賓あいさつ

(全日本ろうあ連盟 副理事長 河原雅浩 様)



全国手話言語市区長会主催の手話劇祭が東京・府中市で開催されることを心よりお祝い申し上げます。2025年6月、悲願であった「手話施策推進法」が成立・施行されました。15年にわたる運動の成果を喜ぶとともに、これまでのご支援に感謝します。法律の制定を新たなスタートとし、手話に関する権利の完全な保障に向けて取組を続けます。

手話劇祭は、手話に関する市民の理解と関心を深め、手話に関する広報活動及び啓発活動の施策として、貴会の誇るべき取組です。また、ここ府中市では本年11月に開催されます東京2025デフリンピックのレスリング競技が行われます。きこえない・きこえにくい人に対する理解の促進、情報バリアフリーと情報アクセシビリティの更なる推進に、大きな期待を寄せるとともに、相互に尊重し合いながら、住み慣れた街で安心して暮らしていけるよう、真の共生社会の実現をめざしてまいります。

全国手話言語市区長会について

(事務局長 富士見市長 星野光弘)

全国手話言語市区長会は、2016年6月に設立され、現在652市区が加盟しています。手話言語条例や施策の情報交換、「手話言語法」や「情報コミュニケーション法」の制定を目指し活動しています。今年6月には「手話施策推進法」が施行され、手話を必要とする子どもへの習得支援や、地域で手話を使って暮らせる環境整備などが明記されました。

全国手話言語市区長会の会員数は250市区からスタートし、年々増加しており、手話関連施策については、手話を広める知事の会や全日本ろうあ連盟等と協力して進めています。本会の主な事業として手話劇祭を開催し、全国各地で手話文化の普及に努めています。その他の事業として、広報活動、手話に関する講演やイベントの参加、全日本ろうあ連盟事業への協力、デフリンピックへの連携も行っています。

現在、手話言語条例を制定した自治体は全国で607に達しています。誰もが自分の言語で話せる社会の実現を目指しています。

※あいさつ文は抜粋しております



日本ろう者劇団

手話狂言の演目は「墨塗」を披露していただきました。演目開始前には、手話狂言の歴史や演目のあらすじ、見どころの解説があり、初めて狂言に触れる方でも、わかりやすく楽しめる内容でした。演目後には、手話狂言が聞こえない演者と聞こえる演者によってどのように演じられているかを紹介し、さらに狂言のセリフをみんなで体験するワークショップも行いました。会場全体で手話狂言の魅力を体感しました。



東京外国語大学チアリーディング部 RAMS

総勢40名でチアリーディングを披露してくださったRAMSの皆さんは、男女混成ならではのダイナミックな技が特徴です。初めてパフォーマンスに手話を取り入れるために手話を学び、その挑戦は見事に成功しました。数々の技を披露していただき、笑顔あふれる演技で観客に勇気と元気を届けてくださいました。



府中市手話サークル

10代から90代までの幅広い年代で構成される手話サークルの皆さんが、テレビで耳にする身近な歌を手話歌で披露しました。デフリンピックにちなんだ“サインエール”や“しゅわしゅわデフリンピック”を取り入れ、終盤には高野市長も交えて「府中市の歌」を披露。子どもたちは緊張しながらも楽しむ様子が印象的な場面となりました。



デフリンピックトークショー

東京2025デフリンピック出場を控えるデフバドミントン矢ヶ部選手・鎌田選手、2026年に開催予定のデフラグビー世界大会に挑戦する岸野選手・石川選手が登壇しました。競技を始めたきっかけやデフスポーツならではの難しさ・見どころについて率直に語っていただき、競技中の工夫やオフの過ごし方など、選手の人柄に触れられる貴重な時間となりました。



手話パフォーマー RIMI

東京2020パラリンピック閉会式に出演実績のある手話パフォーマーRIMIさんは、音楽と手話を融合させたパフォーマンスを披露しました。曲の世界観を手話で表現するだけでなく、観客との一体感を大切にした演出で会場を魅了しました。手話の美しさとやさしさあふれる表現を感じられる時間となりました。



次期開催市あいさつ

(高梁市長 石田芳生 様)

この素晴らしい手話劇祭にご招待いただき、参加できたことを幸せに感じています。皆様のパフォーマンスは、改めて手話による意思疎通の大切さと魅力を感じさせてくれました。

来年度は晴れの国岡山・高梁市で手話劇祭を開催します。高梁市では平成28年度に手話言語条例を制定し、10周年を迎える記念の年となります。市内には日本遺産の備中吹屋の赤い町並みや、天空の山城・備中松山城など多くの文化歴史遺産があります。備中松山城では、愛らしい猫城主「さんじゅーろー」が皆さまをお待ちしています。

手話言語の理解と普及をさらに進める機会とし、多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。皆様と高梁市でお会いできることを楽しみにしています。



閉会あいさつ

(実行委員会 会長 小野寺敏雄)



本日の手話劇祭には、多くの方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。この日のために、事前準備の段階から多くの皆様にご協力をいただきましたこと、改めて心より感謝申し上げます。出演されたパフォーマーの皆様にも、深くお礼申し上げます。

この手話劇祭の目的は、手話のパフォーマンスを通じて、参加者の皆様に様々なことを感じ取っていただくことで

す。聞こえる・聞こえないに関わらず、人と人が繋がる社会の実現を目指しており、その輪が全国に広がっていくことを願っています。来年度は岡山県高梁市での開催が予定されています。次年度以降も、この想いが途切れることなく受け継がれていくことを心より願っています。

フィナーレ

フィナーレでは、来賓、協力団体・出演者の皆様、そしてフィナーレを盛り上げるために駆けつけてくれた府中市マスコットキャラクター「ふちゅこま」がステージに集い、会場全体が一体となって、にぎやかで温かい雰囲気の中、幕を閉じることができました。



Cheers for TOKYO 2025 DEAFLYMPICS デフリンピック応援メッセージ

来場者がデフリンピック出場選手への応援メッセージを自由に書き込めるスペースを設けました。ブースには多くの方が立ち寄り、イラストを交えた温かいメッセージが集まりました。



東京都・府中市芸術文化連携事業 「共生社会にふれて、みる」パネル展

聞こえる・聞こえないにかかわらず、参加者同士が交流を楽しむイベント「織物BAR in FUCHU」を紹介する展示を行いました。作品にふれながら、来場者と交流しました。



会場設備・情報保障

施設概要



施設名：府中の森芸術劇場
ふるさとホール

所在地：〒183-0001
府中市浅間町1-2

アクセス：京王線「東府中駅」から
徒歩約7分



収容人数：約500人

車いす席：あり

運営者：公益財団法人
府中文化振興財団

情報保障

手話通訳者・要約筆記者の配置

- ・手話通訳者は舞台下手に配置し、視認性を確保しました。
- ・要約筆記はスクリーンを2面使用し、左右どちらからでも見やすいよう工夫をしました。

受付・誘導での掲示物案内

- ・受付には手話通訳者を配置するほか、掲示物を設置しました。
- ・会場内誘導スタッフは案内板を用い、情報の見える化を図りました。

〈要約筆記〉



〈案内板の一例〉



参加者・来場者実績

事前申込

- 申込期間 令和7年9月1日(月)から15日(月)まで
申込方法 オンラインフォームからの申込
(FAXや電話での申込も受付)
申込対象 申込代表者含む1組5名まで受付

〈申込フォームイメージ〉

第8回全国手話言語市区長会手話劇祭申込フォーム

入力フォーム

1 入力 2 確認 3 完了

フォームにご入力をお願いします。

第8回全国手話言語市区長会手話劇祭申込フォーム
こちらは、第8回全国手話言語市区長会手話劇祭のお申込みフォームです。観覧をご希望の方は、次の項目を入力の上、お申込みください。

【お申込みにおける注意事項】
○1回のお申込みで最大5人まで申し込むことができます。
○お申込みはお1人につき1回のみとさせていただきます。
※複数回、お申込みされた場合は無効とさせていただきます。
○入力内容に不備があった場合は、当落のご連絡ができないことがありますのでご注意ください。
○座席は自由席です。
○申込多数の場合は抽選となります。当選後に同伴者を変更することはできません。
※ご応募の際にいただいた個人情報、後日通知する抽選結果のご連絡に利用させていただきます。ご提供いただいた個人情報については、利用目的が達成され次第、遅滞なく消去いたします。

Q1. 申込代表者（観覧代表者）情報

氏名

氏 名

氏フリガナ 名フリガナ

メールアドレス メールアドレス (強制)

takamori@city.fuchu.tokyo.jp takamori@city.fuchu.tokyo.jp

0 / 128 30 / 128

Q2. FAX番号（FAXでの結果通知を希望する方のみ）（ハイフンなし）

電話番号

電話番号

0 / 15

参加者実績

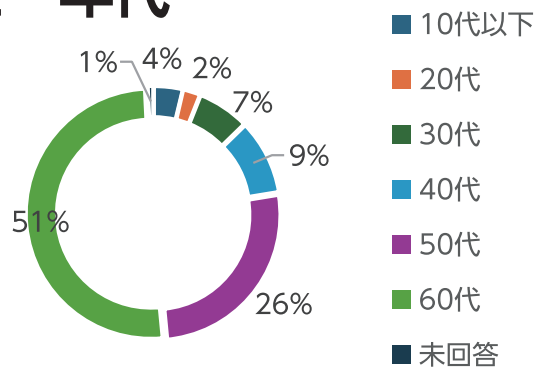
事前申込では500組延べ1,000人を超える申込があり、
抽選で参加者を決定させていただきました。たくさんの申込、
ありがとうございます。

一般来場	332人	▶	合計	514人
来賓	26人			
関係団体	60人			
出演者	96人			

来場者アンケート

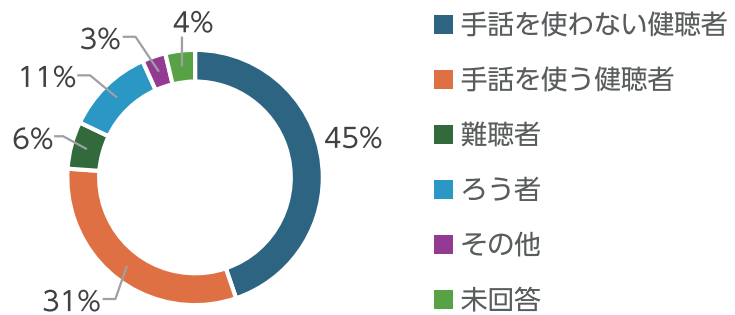
来場者（回答者）属性・年代

来場者の年齢層は60代以上が半数を占め、50代、40代、30代、20代、10代以下と幅広い年代の方が参加していました。



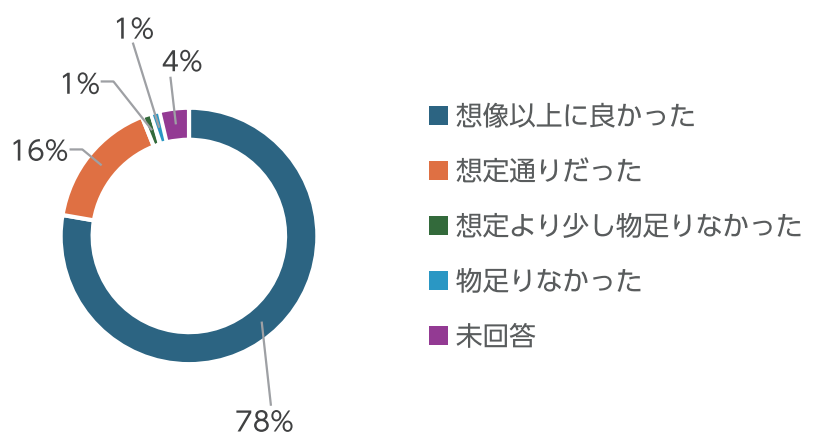
来場者（回答者）属性・聴覚と手話

来場者の属性としては「手話を使わない健聴者」が最も多く、次いで「手話を使う健聴者」、「ろう者」、「難聴者」と続きました。



満足度

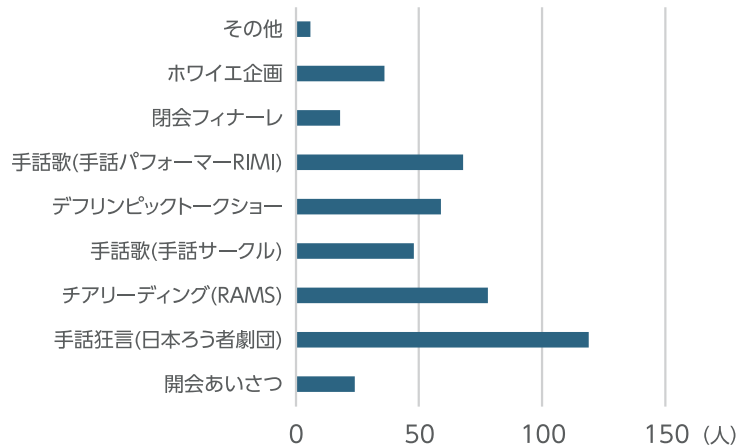
「想像以上に良かった」と答えた方が大多数を占め、期待通りだったという回答も一定数ありましたが、物足りなさを感じた方はごく少数でした。



来場者アンケート

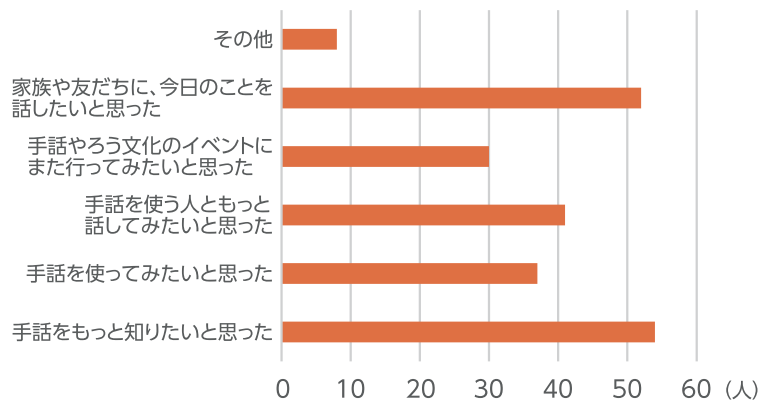
印象に残ったプログラム

「手話狂言(日本ろう者劇団)」が圧倒的に多く、次いで「チアリーディング」「手話歌(手話パフォーマーRIMI)」「デフリンピックトークショー」などが挙げられました。



手話劇祭をきっかけにこれからやってみたいこと

手話やろう文化のイベントにまた参加したい、手話をもっと知りたい、家族や友人に今日のことを話したい、など、今後の行動につながる前向きな意欲が多く見られました。



その他感想 (自由記述)

- 初めて手話劇に関するイベントに参加しました。想像以上に楽しかった。手話の世界の奥深さ、豊かさに触れた感じがし、このようなイベントを自分の地域で開催して頂き、うれしく、ありがたいと思いました。
- 一度見たかった手話狂言を観ることができて、うれしかったです。
- 特にRIMIさんの手話歌は感情がとても伝わってきて、私も常に前向きでありたいと勇気と元気をもらいました。
- チアで元気をもらいました。これからもがんばってほしいです。
- 市長さん達が一生懸命手話でご挨拶された事に感動。その姿は市民への手話の普及に繋がることと感じた。
- 孫が手話サークルに入っています。ステージを見て感動して涙が出ました。
- デフリンピック・デフスポーツを知りたいと思いました。
- ただ見るだけでなく、ステージと一緒に手話表現をして知れた。

発行 第8回全国手話言語市区長会手話劇祭実行委員会
編集 実行委員会事務局(府中市福祉保健部障害者福祉課)
〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地
☎ 042-335-4545
FAX 042-368-6126
✉ syougai01@city.fuchu.tokyo.jp